

警城時報

行發日三
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金貳拾圓
廣告料 一行十四字 計五十五錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

空前も非常時。乾く水田

郡下一帯に水不足甚しく

小川では植付不能四町歩

七月一杯雨らしい雨に恵まれなつて居る、このほか植付不能と
かつた石城郡下の水田はすつたまでは行かないが干魃のため
乾き切つて各地に龜裂を見始の發育不能に陥つたものは無
め農家は悲鳴をあげてゐる、上にある
下小川組合村は殊に甚しく二日
郡農會委員が調査したところ
ろによると上下小川根本では植
付不能のもの一反二畝、下小川
前原部は植付不能三町歩
干魃のため稲の立枯れとなつた
もの四町歩、同じく柴原では干
魃五反歩五久保で五反歩に達
して居り下小川組合村で植付
不能は四町一反二畝、干魃五町
歩、この損害見積約一萬圓に上
つた

參會者殺到して 堂に溢る、盛況

昨夜關内氏歡迎座談會

滿支の皇軍慰問と産業視察の旅の辭を述べ、市長代理伊藤助役
から歸つた平野防衛團長關内正一は關内氏に對し長途の旅の勞
の歡迎座談會は、既報の如くを稿に座談會開催の挨拶を述べ
青洲市長、二丁目中野區長、友關内氏起つて先づ
人鈴木光吉氏等主催の下に二日
午後六時からマルトモホールに
開催したが、豫定會員七、八十
名のところ當夜に至つて參會者
殺到百三十余名に達し、ホール
から溢れた三十余名は別室に引
つゞき小宴を開く豫想外の盛況
を呈した、定刻鈴木光吉氏開會

海軍部出張所 江名町に設置、内定

江名町では海軍出張所の

江名町では海軍出張所の
を寄附するとの條件を附して引
誘致運動を続けて居るが主務
省の意向は大抵十五年度に於
ては四日町村農會技術員を招
集し各町村の被害状況を聞いて
た上で對策を協議することに
なつた

關原君を訪れて

滿支視察の旅……33

六月十三日快晴
午前八時半現太郎君が宿に
迎へに來た、大同炭礦見學、
八時半半藤原段長の好意で驛の
ガソリンカーに乗つて二十キ
ロ、柳の並木の間に途中ケン
の花畑や、駱駝の群を眺めな
がら心地よいスピードで大同
炭礦に到着、リサーチさんも一
緒だ。炭礦事務所に来意を告
げ應接間に於て座談會長より
鑛山の沿革、炭質其他専門的
の話を約四十分程拜聴す。
埋藏量は二百二十億トン以
上と推定されてゐると云ふ、
或學者の測定によると四百億

警防團補助金

平は七百九十圓

本縣警防團に對する國庫補助金
割當はこのほど決定したが平市
警防團は七百九十六圓五十錢で
ある

前線から献金

上野野村瀨出身水野兵輔、同政
兵の武運長久を祈願、終つて四
の兩君は目下海軍兵として一倉
海岸で運動會を催す

地代と家賃調へ

近く公布の統制令に備へ

地代家賃を昨年八月四日現在に
等する八日までに調査報告す
還元の地代家賃統制令は、いよ
りよ今月中に公布されるので市
では縣の通牒に基づき三日市内
行政區長に宛て
昨年八月四日の基準より地代
家賃の騰貴したものと及びその
騰貴割合、また家賃地代を騰
貴せしめ又はせしめんとする
事情

四回戦に敗る

遠征の警中庭球部

一日から東京文理科大コートで
行中の第七回全國男子中等學校
戰式庭球選手權大會に出場した
警中(小齊、小松組)は二日四
回戦で中京商加藤、池田組に

法曹團祈願祭

平區裁判所判事、辯護士、司
法書士その他法曹團一行は六日
久之濱波立薬師に司法關係出
征

老婆の赤誠

四倉町新町開根たつさん(七六
)は自分の息二人が兵役に關係な
いのはこの非常時に申し譯ない
とて毎日行商して蓄へた金十圓
を國防金にと役場へ差出した

防空群献金

四倉町第七群家庭防空訓練出動手
さん外十四名は防空訓練出動手
當二圓に町内からの寄付三圓を
合せて五圓を役場を通じ國防

あさり代献金

學校等五以上児童は三十一日同
村地先岩間海岸でアサリ貝三斗
を採取しこれを賣却して得た金
六圓を出征兵慰問金にと役場へ
寄附した

児童美化作業

學校では夏休み中全校生徒二十
百名が交替で神社清掃と町内
の古びた、廣告はがし等の美
化作業を奉仕する

美しき郷土愛

赤痢患者の家へ
見舞金

時計を強奪

久之濱の白痴少年
双葉郡大久村山崎宇大場道口唯
一さん方に遊蕩中の東京市同島
區寺島町四丁目眼鏡製造業西山
治四郎氏(二女文字さん(二六)が
一日午後二時ごろ久之濱海水浴
場からの歸途自宅附近の山林で
不良少年に襲はれクォーム腕
時計を強奪された、四倉署で捜
査の結果犯人は久之濱町東町三
六漁夫(五二)の長男(一五)
の仕業と判明した

草野の瀕死体

去る三十日午前五時ごろ野村
下野谷岸前の常磐線鐵道枕木
に帯を掛つて縊死してゐる二十
四、五才の青年を通行してゐる
見許不明で神谷村役場で假令
見許不明で茨城縣神谷町東町
村東子(二三)らしく三日家
が來村し官費葬する

疫病患者續發

大野村大字白岩宇治作、農利三
郎さん孫渡邊利雄君(六)は二日
疫病と判明、この外同村に一度
に三名の同患者が發生したので
村では必死となつて豫防につ
めてゐる

天氣豫報

今夜は北東の風曇り曇つた
明日は北東の風曇り立機

野澤武藏

縣議選舉の展望……(二)
政友派は郡市で四名擁立

政友會縣支部は至極平靜を装ひ、縣會議員選舉に對する具體策に入つてゐないが、本部の革新、純正兩派の争ひに巻き込まれること無く、縣支部は獨自の立場にあつて統合し、多年民政黨に牛耳られてゐた縣會の椅子を過半数占め奪回すべく幹事長小野晋平氏の策謀に勝算あるものゝ如く縣支部の態度も近く決定するものと見られてゐる。

石城郡部會の問題も相刻を避ける意味から郡市分離等の改組は行はず、現在のまゝ押し進むものと見られてゐる。

縣支部の方針未決定のため郡市の候補者も決定に至つてゐないが

▲市部、關内正一氏
▲郡部、小野晋平氏、蓮沼龍輔氏
の現縣議は何れも決定的であり、北部から元代議士木村清治氏息で歸還軍醫木村守江氏の出馬が確定的と見られ、南部は前回一敗地に塗れた前勿來町長赤津庄兵衛乃至古川傳一兩氏の内から選ばれる様で政民兩派が無競争を協定せぬ限り政友派は四名擁立全權を期することに成るであらう
政友派が四名を擁立した場合は、地盤的に最も脆弱を傳へられるのは中部炭礦地帯に根據を置く蓮沼龍輔氏であり、菊田方部も民政派の候補者如何に依つては赤津庄兵衛氏危ふしと見られ、四名全選の万全を期する上から結尾植田町長古川傳一氏擁起を促すことになり、古川氏又黨の立

場から立候補に備へてゐるものゝ如く、無競争を實現せぬ限り古川氏の出馬は確定的と見られてゐる。(この頂つき)

出前迅速
御料理
むぎとろ
さつき
平市紅小路電四八八

三井タクシー
平市二丁目
電六八五番

債券・公債
兩替・金融
多田井質店
平市大工町電五九一

歯科技工士
一名至急招聘
勤務先 東京某歯科醫院
姓名在社
電話四〇九

謹告
料理屋、藝妓屋兩組合共從來公休日等を單一に定め全休致居候處、社交的方面に於て不便尠からざるの聲に接し、八月より兩組合共公休日等を二分、御顧客様に御迷惑相掛間敷候御諒承願上候
平料理屋組合
平藝妓屋組合

料理屋公休日
第一組 毎月第二水曜日
第二組 毎月第二木曜日
藝妓屋公休日
毎月第二水曜、同木曜交互

通話新設
此程當店の電話番號を三番に變更致しましたから宜しく御願ひ致します
丸伊商店
芳賀 勇
電話三番

職工及見習工募集
平市月見町
佐藤鐵工所
電話三六二番

安田生命 保
日本共立火災 險
東京勸産火災 險
平代理店 井上貞治郎
平市五丁目 電話六六番

冷たい 滋養 生ビール
平一。警察署通り
マルサ
電話二七一番

胃腸によくきく 麻苺散
藥二日分 三十錢
四日分 五十錢
價九日分 一圓
平市四丁目 小野屋藥局
電話一四四番

東京寫真報國社選 優秀傑作寫真
◇店內陳列◇
カメラと材 料の御用命は
現像・焼付・引伸
西村屋藥局寫真部
平2 電3

公債・債券 一般
三井質店
平市四丁目
電話六〇六番

鑑定
住宅家相の設計製圖
建築造作の時期撰定
見學旅行の道程相談
結婚縁組の性格鑑定
目的企業の成否豫斷
平市白銀町
石島陰陽館
電話六五〇番

四倉の名産!!!
新鮮な魚と貝の罐詰
御土産に御進物に
優美な化粧箱詰を
是非御用命………を
四倉町
佐藤仲商店
電話四十一番

みつ豆
お酒は 未廣!!
平市三丁目
新米
(裏店計時谷大)

漢方 生公華
貼藥 濕布で名藥
助膜・氣管支・關節・神經痛・肺炎・ロイマチス……扁桃腺・中耳炎・骨膜・腰痛・ち疾に……
價 藥 二四五十錢
八 四 圓
四 圓
平賣店 山野邊藥局
平市五丁目角